

令和6年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：22025

学校名：あいの里西小学校

	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	全国と比べて高いポイントの種目 ・握力 全国と比べて同程度のポイントの種目 ・上体起こし、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	全国と比べてやや低いポイントの種目 ・長座体前屈 全国と比べて低いポイントの種目 ・なし	全体的に全国と比べて同程度の結果となっている。度数分布についてもおおむね全国と同様の結果であった。握力については全国平均を2ポイント以上上回っている。
体力・運動能力 ＜女子＞	全国と比べて高いポイントの種目 ・握力 全国と比べて同程度のポイントの種目 ・50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	全国と比べてやや低いポイントの種目 ・上体起こし、長座体前屈、反復横跳び 全国と比べて低いポイントの種目 ・シャトルラン	全国と比べて同程度およびやや低い結果の種目が多い。持久力については全国平均を大きく下回り、敏捷性については全国平均を下回っている。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	運動やスポーツをすることが好き、やや好きと回答している割合は男女ともに全国、札幌市の平均とほぼ同程度である。	体育の授業で目標を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあるという設問では、男女ともに全国、札幌市の平均値を下回っている。	運動やスポーツが好きと答えている割合が高い反面、体育の授業に関する設問では、全国平均を下回る項目が多い。

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実

具体的な取組

- ・運動が苦手な児童に配慮した体育の授業を行い、身体を動かす楽しさや喜びを味わうことのできる基礎を培う。
- ・準備運動として「ヒートアップ運動」に継続的に取り組み、持久力と敏捷性の向上をねらう。
- ・場の設定や、活動形態を工夫し、運動量を確保する。
- ・課題探究的な学習を充実させ、子どもが実感を伴った学びを進められるようにする。
- ・自分の動きを客観視したり、記録の伸びを実感したりするために一人一台端末を有効活用する。

- ・全校児童が縄跳び運動に取り組む「なわの日」を設定し、技を向上させる喜びや、仲間と連携して目標を達成する楽しさを味わいながら体力を高められるようにする。
- ・50m走のタイム測定ができる「ファストラン・タイムアタック週間」など、体育の授業以外にも走る活動ができる場を設ける。
- ・休み時間の外遊びを奨励し、体を動かす機会を充実させる。
- ・玄関ホールを活用した体力向上に関わる活動の企画運営を行う。

- ・食指導や保健指導で獲得した知識や技能を子どもたちが実生活で生かしていけるよう指導の充実を図る。
- ・学校生活の基本を掲載した「あいの里西スタンダード」をもとに、生活リズムや食生活について自ら考え、実現していけるようにする。
- ・健康委員会を中心とした委員会活動において、自治的な活動の中で健康づくりに関しての課題を見出し、ポスターによる啓蒙活動などの具体的な取組を充実させていく。

家庭・地域との連携・協働

体育の授業やスポーツテスト、水泳学習、スキー学習などにおいて、保護者や北海道教育大学札幌校の学生に指導補助を依頼する。